

〈地区の平穏とコロナ禍終息を祈願して!〉

1月7日、久玉地区正月の風物詩にもなっている鬼火があった。

牛高前のふれあい広場には高さ5m程の雑木が積みあげられ周りは竹で覆われ中央には立派な竹が高々とそびえていた。

急ごしらえの神棚には米・塩・酒・魚が御供えしてある。

空はスッキリ晴れ風も穏やかで絶交の鬼火の場面は整った。

午後1時、60名ほどの区民が見守る前で、今年の平穏とコロナ禍の終息を祈願して着火すると炎が勢いよく燃え上がった。

幸いなことに北東の風、もくもくと吹き出す凄まじい煙は、大きな塊(かたまり)となって海の上を流れていく、コロナ退散と言わんばかりに。

火が小さくなった頃を見計らって、周りでは餅を竹竿に挟んで炙る(あぶる)光景が見られた。鬼火で炙った餅を食べると一年間健康でいられるとの言い伝えがある。

そんな習わしが引き継がれていることが嬉しい。

見物客には女性部がつくった「ぜんざい」が振る舞われ皆さん美味しいと言いながら笑顔で食べていた。

コロナ禍が終息して1日も早く普段の生活ができることを願いながら、楽しい鬼火焼きは終了した。

尚、鬼火は、同日に上揚区、鍛冶屋区、明石区、9日には吉田区、内の原区でも行われた。

久振だより

人口2605人
1379世帯
-第165号-
発行
久玉地区振興会
発行日
令和4年2月1日



振興会(牛高前ふれあい広場)



温かいぜんざいを頂きま〜す♪

鬼火 各地区の様子



吉田区



上揚区



内の原区



明石区から望むふれあい広場



明石区



第3回くたま市民学級 「ごみの減量化と資源化」 参加者21名

1月12日(水)、牛深支所市民生活課・山崎さんによる「ごみの減量化と資源化」についての講座がありました。

天草市ではごみ処理に年間15億円もの費用がかかっているそうです。地球温暖化・異常気象・大気汚染と、地球の未来のためにまずはごみを減らすことから始める。

ごみを減らすためには、リデュース(ごみを発生させない)・リユース(捨てずに繰り返し使う)・リサイクル(再び資源として活用する)を行うことが大切になるということでした！



～久玉八幡宮からのお知らせ～ 「大麻」と「お守り」について

神社の大麻は年末に各戸にお届けしておりますが、何かの事情でいただいております。また、初詣の際にお守りを買っていただいたという方の為に、総代会長の榎田和寿宅に2月中までは置いておりますので、お知らせします。

大麻 2,000円・お守り 1,000円